

令和2年度中野地区まちづくり協議会事業計画

■ 1. 組織運営

- (1) 運営委員会、役員会の開催
各種事業取り組み、事務局体制整備、予算執行、円卓会議検討、総会準備
- (2) 円卓会議…毎月7日に開催(原則)
- (3) 自治会連合会及び各種団体との連携強化
- (4) 中野コミュニティセンター指定管理運営体制の強化

■ 2. 各プロジェクト事業

- (1) まちあるきプロジェクト
- (2) 歴史探訪プロジェクト
- (3) 山と川保全推進プロジェクト
- (4) 50年森整備事業
- (5) 椋の木保全プロジェクト
- (6) 地域福祉を進めるプロジェクト
- (7) 命のバトン地区内普及の取り組み
- (8) 新規事業及びプロジェクトの立ち上げ

円卓会議において提案された課題について事業化する婚活事業
もろてーな市(計3回開催予定)
なかのよいまちカフェ(月1回程度)
中野コミュニティセンター周辺整備事業
彼岸花再生プロジェクト(蛇砂川左岸)
認知症支援事業
コミセン西広場整備及び利用計画事業
太郎坊宮駅前整備計画への協力
子どもの居場所づくり(なかのごはん)事業協賛
第2層協議体事業への協賛、協力
地域福祉計画に基づく地域事業への協賛、協力

■ 3. 広報委員会

■ 4. 事務局体制の整備、事務機器等の整備事業

- (1) 事務局の充実 (2) 事務機器の整備 (3) 活動機器の貸出
- (4) 図書の購入

■ 5. まちづくり計画に基づく事業の実施

■ 6. 全体事業の開催

- (1) まちづくりイベントの開催
夏まつり ----- 中止
防災フェア ----- 10月11日(日)
文化祭前夜祭 ----- 11月 7日(土)
文化祭 ----- 11月 8日(日)
がもうの祭りバザー ----- 10月末 定(日)
環境整備事業(布団の回収等) ----- 10月25日(日)
- (2) 市内まちづくり協議会合同事業
わくわくコラボ村

■ 7. その他

- ① 他の団体との連携/たすけあい中野、清水小脇まちづくり委員会、市内各地区まちづくり協議会、市社会福祉協議会、中野地区ボランティアセンター、NPO法人レンガのえんとつとまれ、NPO法人しみんふくしの家八日市小規模多機能型介護事業所、NPO法人ゆりかごネット、社会福祉法人蒲生野会、中野ヴィレッジハウス、デイサービスセンターアンサンプル、中野地区社会福祉協議会等の団体との連携及び協力。
- ② 市観光物産課、太郎坊宮、中野地区の観光物産に関わる企業や団体との連携
- ③ 東近江市役所地域担当職員との連携、協力

令和2年度中野地区まちづくり協議会収支予算

収入の部 (円)

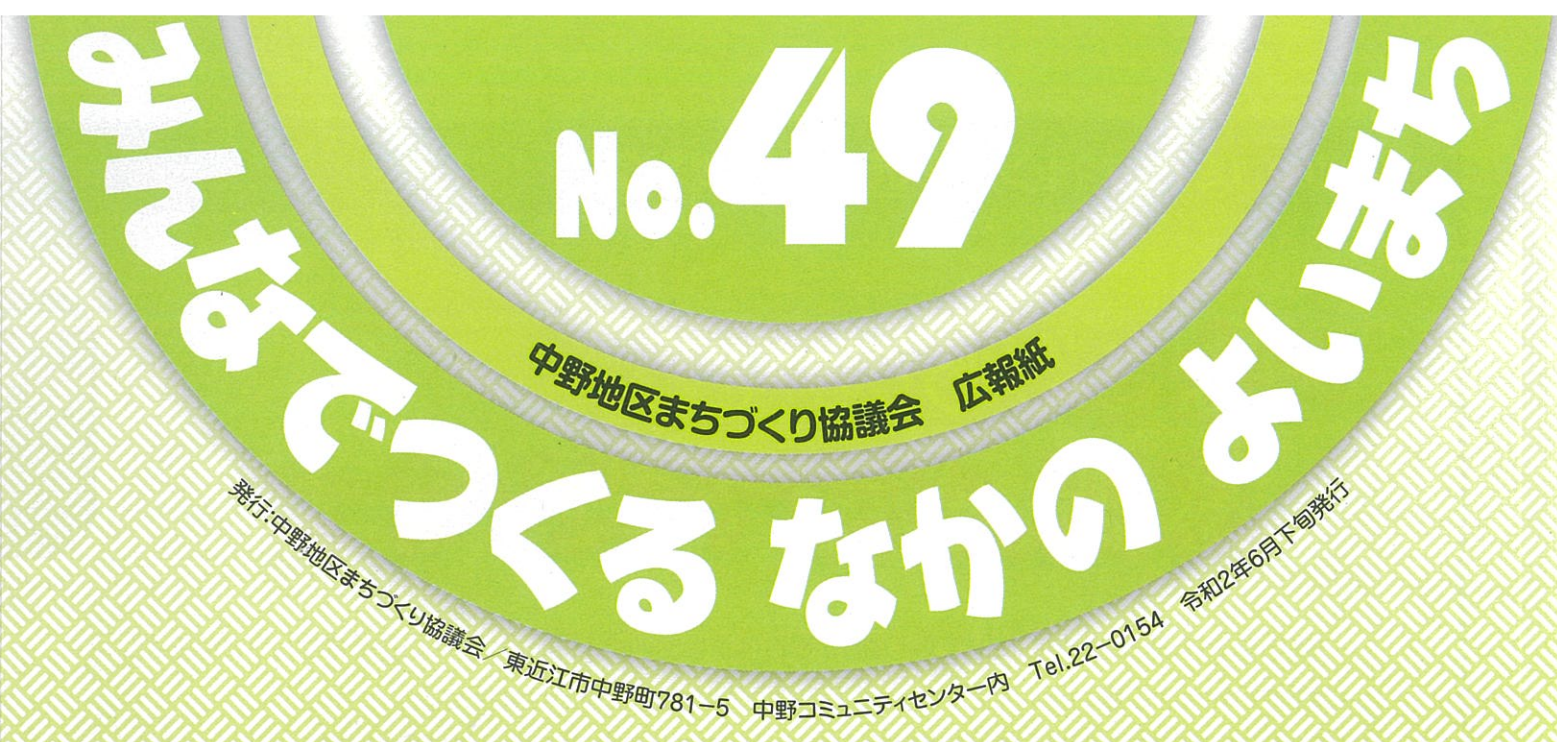
科目	本年度予算額	説明
交付金	1,724,000	まちづくり総合交付金
補助金	30,000	自治会連合会から
繰入金	0	基金からの繰り入れ
雑入	281,187	バザー売上金、まち歩き、婚活事業参加費用、利息等
繰越金	764,813	前年度繰越金
合計	2,800,000	

支出の部 (円)

科目	本年度予算額	説明
会議費	55,000	総会・運営委員会等会議用お茶代
旅費交通費	5,000	県庁等出張旅費
通信運搬費	10,000	通信用切手、ハガキ等
印刷製本費	20,000	会議資料等印刷費
報償費	5,000	
研修費	40,000	市内まち協連絡会負担金、研修参加負担金等
事務費	30,000	事務用品、消耗品等
小計	165,000	
まちあるき	250,000	2回実施の諸経費(借上げバス代等)
歴史探訪	25,000	資料収集と資料作成
山と川保全	20,000	箕作山周辺整備諸経費
まちづくり計画	20,000	計画の検証と見直し円卓会議
広報委員会	330,000	広報(なかのよいまち)の発行費用
まちイベント	250,000	バザー材料、文化祭前夜祭わくわくコラボ参加経費等
新規PJ	450,000	円卓会議での提案事業(婚活事業、もろてーな市、なかのごはん)等の実施経費
50年森整備	450,000	整備備品、材料、消耗品、賠償責任保険、彼岸花再生事業等
事務局整備	300,000	事務局体制の整備、備品購入修繕費等
小計	2,095,000	
積立金	0	
予備費・負担金等	540,000	協賛金、自治会連合会、たすけあい中野、あかね協賛金、緊急修繕等
合計	2,800,000	

基金の状況 (円)

基金名	令和元年度末現在高	令和2年度末予定残高
なかのよいまちづくり基金	1,953,000	1,953,000



ムクノキを守る人々
東近江市・木を使うプロジェクト推進協議会

昭和町にある中野神社の樹齢650年のムクノキは、中野地区のシンボルツリーです。昨年、台風の暴風で枝が折れました。枝とは言っても長さ3メートル胴回り2メートルの大きなもので、クレーンを使って撤収作業が行われ、その後研磨されて活用方法が検討されましたが、このたび、中野神社氏子のご神縁で中野ヴィレッジハウスにムクノキの大きな枝を安置させていただき運びとなりました。ぜひ、中野ビレッジハウスで時代を超えて生き永らえた木の生命を感じてみてください。

みなさんありがとう。 感謝、感謝でございます。

数年前から造成完成に向けて取り組んでおりました西広場は、ようやく姿を見せはじめました。これまで多大なご協力をいただいた多くのみなさんに感謝しかありません。

資金、知恵、物資、労力、種々ご提供くださいました各位みなさんに本当に感謝です。

非常用井戸施設を掘削から設備まで一式ご寄付いただきました近畿地水(株)様ありがとうございます。多額の造成整備資金をご提供くださいました中野地区自治会連合会様、中野地区社会福祉協議会様ありがとうございます。

最後に、土地の入手手続きから折衝、造成までご尽力いただきました東近江市役所様ありがとうございます。みなさんに感謝いたします。今回、西広場特集を組みまして感謝のご報告とさせていただきます。

中野地区まちづくり協議会



西広場活用について
大いに語る西村館長

アッケラカンとした写真ですが…

写真右奥の建物は、中野地区コミュニティセンター。左奥の木は、西のムクノキです。アッケラカンとしたグラウンド写真ですが、きめ細かな山砂で造成し、夜間照明設備もできました。各種イベントなど多目的に使えます。また今後、敷地の北側はベンチ設置や植樹整備がおこなわれ、憩いの広場になります。



広場全景

昔はこの井戸水ポンプでした。 知ってる人は年配者だけ？



西広場の北西側に、非常時に使える井戸水ポンプを近畿地水(株)様から御寄付いただきました。地下水を人力で汲み上げられるポンプです。年配の方には懐かしい井戸ポンプですね。災害時に活躍しそうです。

寄贈
近畿地水(株)
創立30周年記念

非常災害用井戸

ご注意ください！

1. この井戸水は、飲めません。
2. 生活用水(トイレ、掃除用)にお使いください。
3. 金気が少なく無色透明の場合は洗濯にも使えます。
4. 利用にあたっては、井戸所有者の指示に従ってください。

東近江市

旧中野小学校正門の門柱 歴史を感じます。

中野幼稚園跡地から運ばれてきた旧中野小学校門柱です。みかげ石製の立派な門柱です。100年くらい前のものだそうです。



中野小学校跡の説明版

門柱と同時に中野幼稚園跡地から運ばれてきた中野小学校跡の説明板です。ぜひご一読ください。

中野小学校跡

明治五年(一八七二)八月、大坂市で学制が定められ、明治十二年(一八七九)に教育令が發布されました。

中野学校(中野)、育徳学校(今堀・小今堀)、近光学校(小堀)、時習学校(金屋)の四校が統合されて、尋常科中野小学校となったのは明治十九年(一八八六)十一月でした。

そしてこの地に新築されたのは明治二十六年(一八九三)十月三日でした。その後、増改築が繰り返され、また八日市町の合併により、村立中野小学校は昭和二十九年(一九五四)三月町立中野小学校に、昭和二十九年八月十五日八日市町の発足により八日市市立中野小学校となりました。

市内小学校の再編により八日市小学校と統合され、八日市南小学校中野校舎となりました。最終的に中野校舎より卒業生を送り出したのは昭和三十九年(一九六四)三月十九日でした。

中野地区まちづくり協議会

